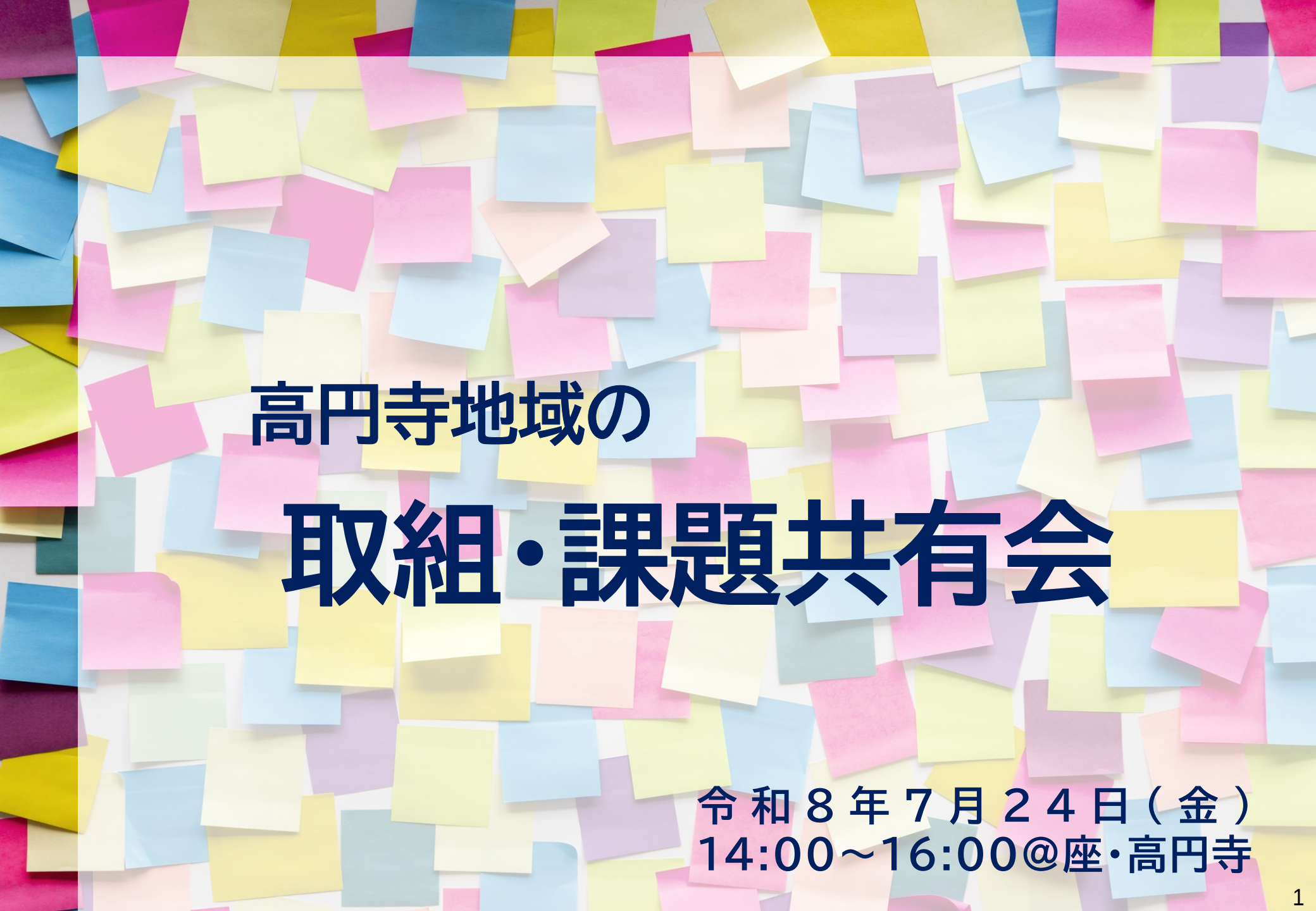


The background of the entire slide is a dense, overlapping collage of numerous small, rectangular sticky notes in various colors including yellow, pink, light blue, and white. The notes are scattered across the entire frame, creating a textured, busy background.

高円寺地域の

取組・課題共有会

令和8年7月24日(金)
14:00~16:00@座・高円寺

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

目的とゴール

高円寺の将来像を考えていくため、地域の現在地を共有する場

目的

- 「防災・まちの課題」「魅力」「区取組」に関する情報提供
- 関係者間で、**共通認識を形成するための事前整理・情報共有**
 - ▶ 今後さらに多くの方々と考えていくための材料にしていきたい

本日のゴール

- ①高円寺駅北口周辺竹の課題や現状と、区取組について、人に説明できるようになっている
- ②対話を通じて、自分の思いへ確信を深めたり、新たな考えが思い付いたりしている

何か結論を出す場ではありません。

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

これまでの経緯・ふりかえり

- 高円寺駅周辺の町会長・商店会長との意見交換を実施
- 高円寺駅前広場再整備を契機にH21から延べ16回開催

意見交換内容（抜粋）

- ✓ 賑わいと生活環境の両立が必要
- ✓ マナー違反、放置自転車改善、防犯カメラなど治安対策強化
- ✓ 都市計画道路は商店街や住民への影響に配慮、商店街分断や集客減少への懸念
- ✓ 木密解消、延焼遮断、避難路確保のための一定の道路整備は必要
- ✓ 道路拡幅より無電柱化や狭あい道路整備を優先して
- ✓ 避難路・防災公園・非常食確保、災害対策を強化して
- ✓ 花や緑、景観整備を進めて
- ✓ 外国人増加に対応し、多言語表示を充実して
- ✓ 子育てに配慮した設備（おむつ替え等）を整えて



まちの成り立ち

- 高円寺駅周辺の区画整理、高南通りの整備
- JRの高架化はしたものの、道路骨格はほとんど変わらず建物密度の上昇



出典：国土地理院 空中写真を画像補正

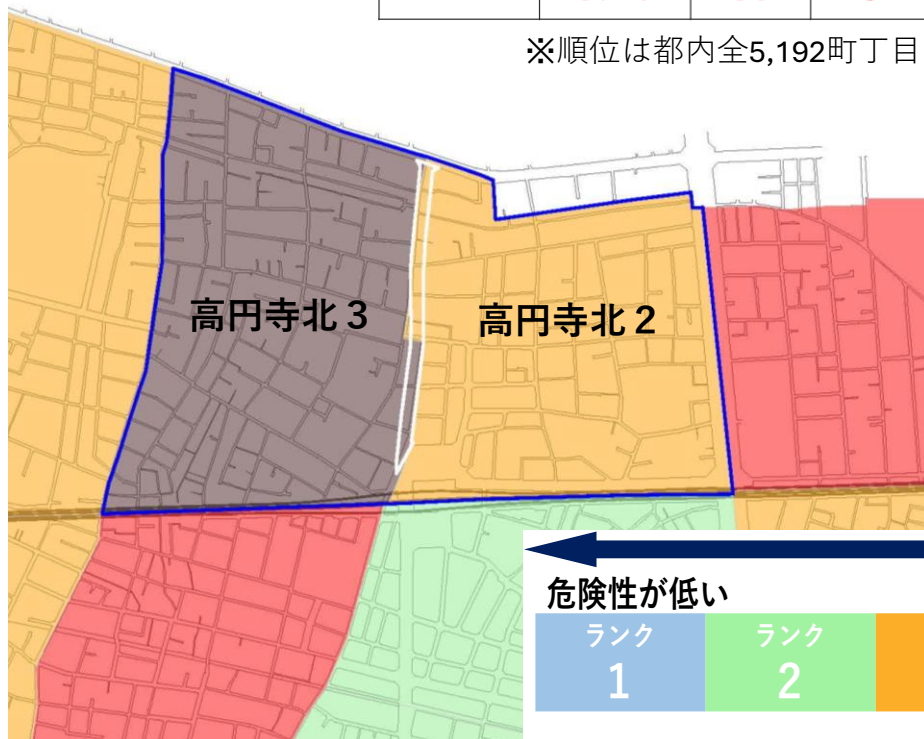
地域危険度

- 高円寺北三丁目は、火災危険度、総合危険度が区内で最も高いランク 5
- 都内全域の中でも危険度が高い

●火災危険度

	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
高円寺北2	0.99	579	3
高円寺北3	5.48	59	5

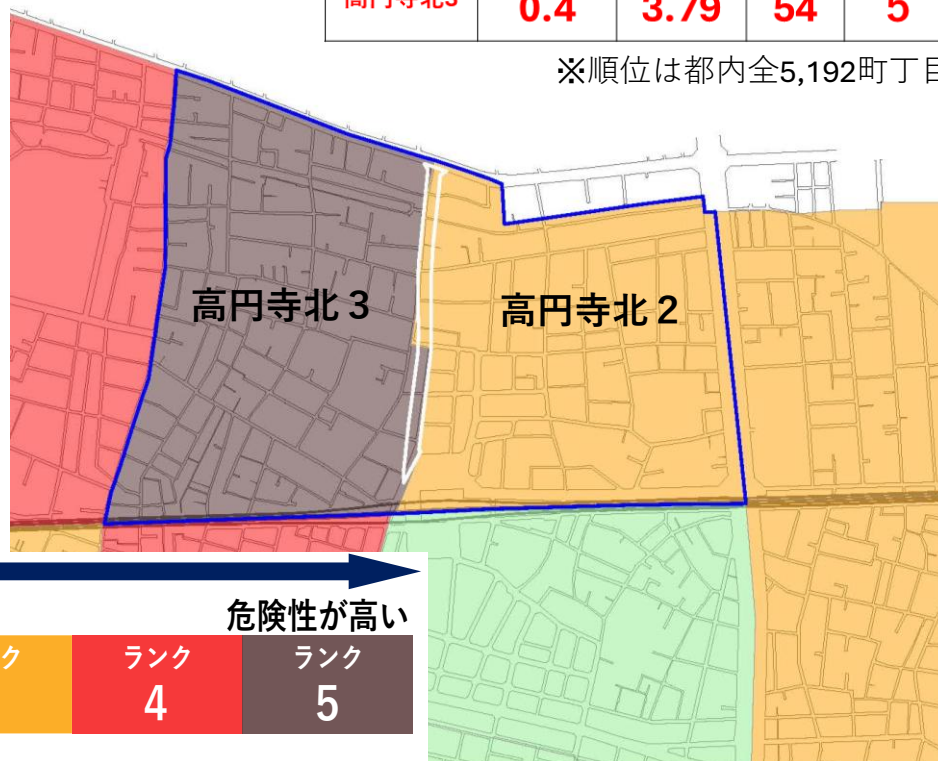
※順位は都内全5,192町丁目



●総合危険度

	災害時 困難係数	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
高円寺北2	0.24	0.82	822	3
高円寺北3	0.4	3.79	54	5

※順位は都内全5,192町丁目



危険性が低い

ランク
1

ランク
2

ランク
3

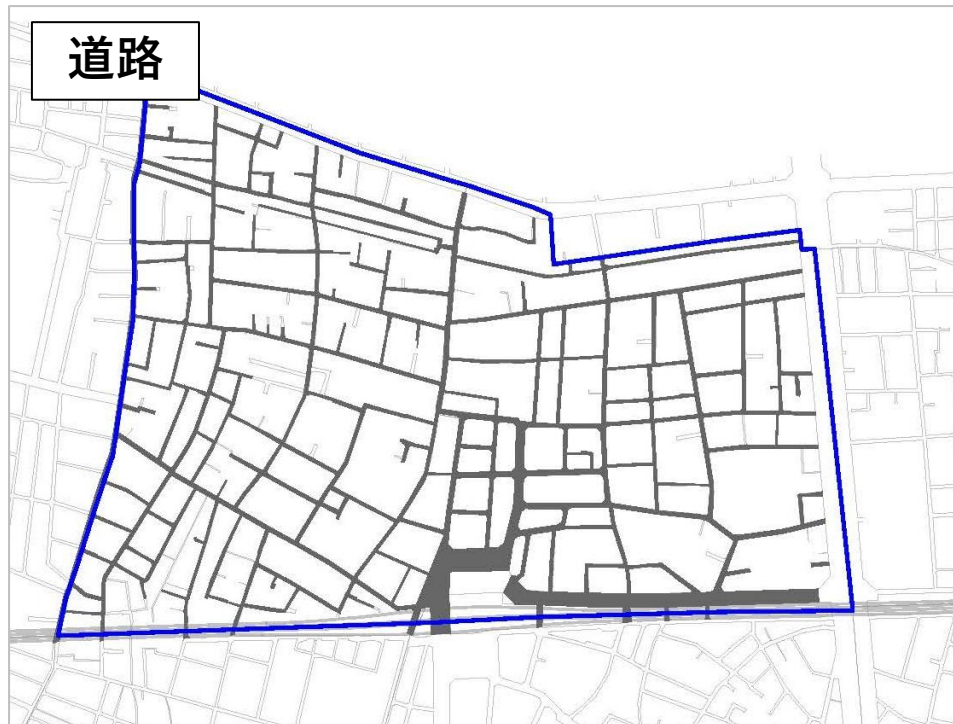
ランク
4

危険性が高い

ランク
5

高円寺駅周辺の基盤整備状況

道路



● 2項道路（狭あい道路）延長

57.1% （杉並区平均31.0%）

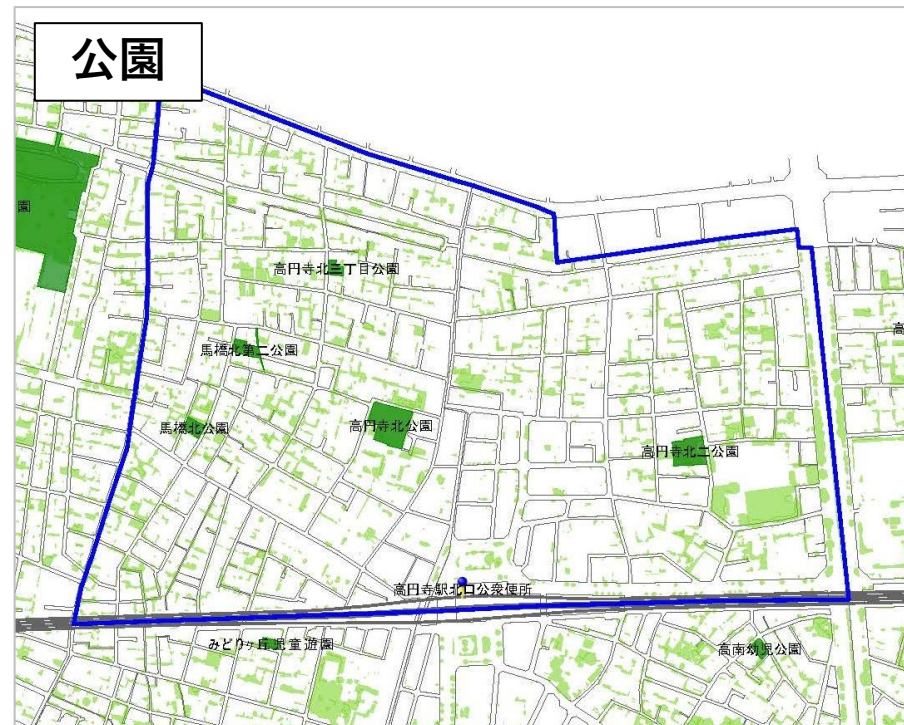
● 6 m以上の道路延長

5.23% （杉並区平均12.42%）

● 道路率（面積）

15.44% （杉並区平均13.54%）

公園



● 公園面積

0.98% （杉並区平均3.92%）

● 緑被率

9.75% （杉並区平均21.99%）

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 **アイスブレイク**
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

アイスブレイク

自己紹介

6分

おひとり様 1分程度 をお願いします。

①お名前

②所属・役職（町会・商店会・区職員）

③私が考える高円寺の魅力

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

防災都市づくり推進計画（東京都）

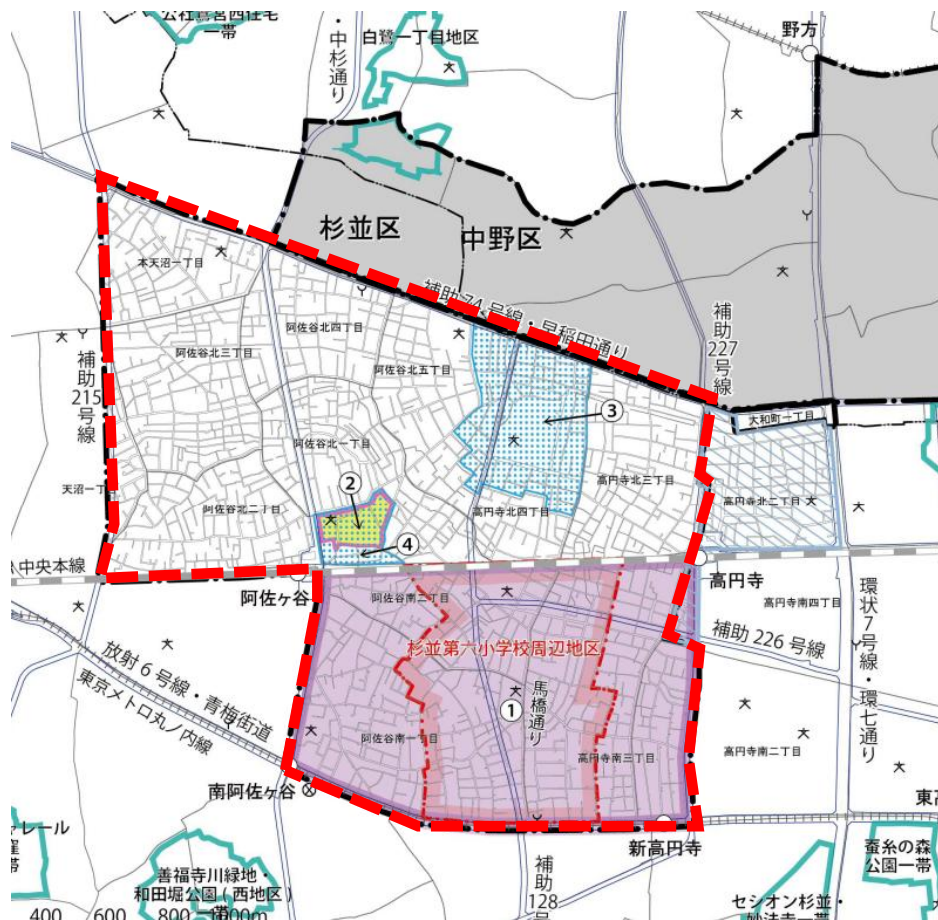
いつ発生してもおかしくない大地震から、都民や首都機能を守り、東京を誰もが安全・安心に暮らせる、震災に強い強靱な都市とするための計画



出典：東京都 防災都市づくり推進計画

防災都市づくり推進計画（東京都）

阿佐谷・高円寺周辺地域



出典：東京都 防災都市づくり推進計画

■高円寺北 3・4 丁目

高円寺南 2 丁目の一部・3 丁目

阿佐谷北 1・2・3・4・5 丁目

阿佐谷南 1・2 丁目

本天沼 1・2 丁目の各一部

天沼 1 丁目の一部 が含まれる。

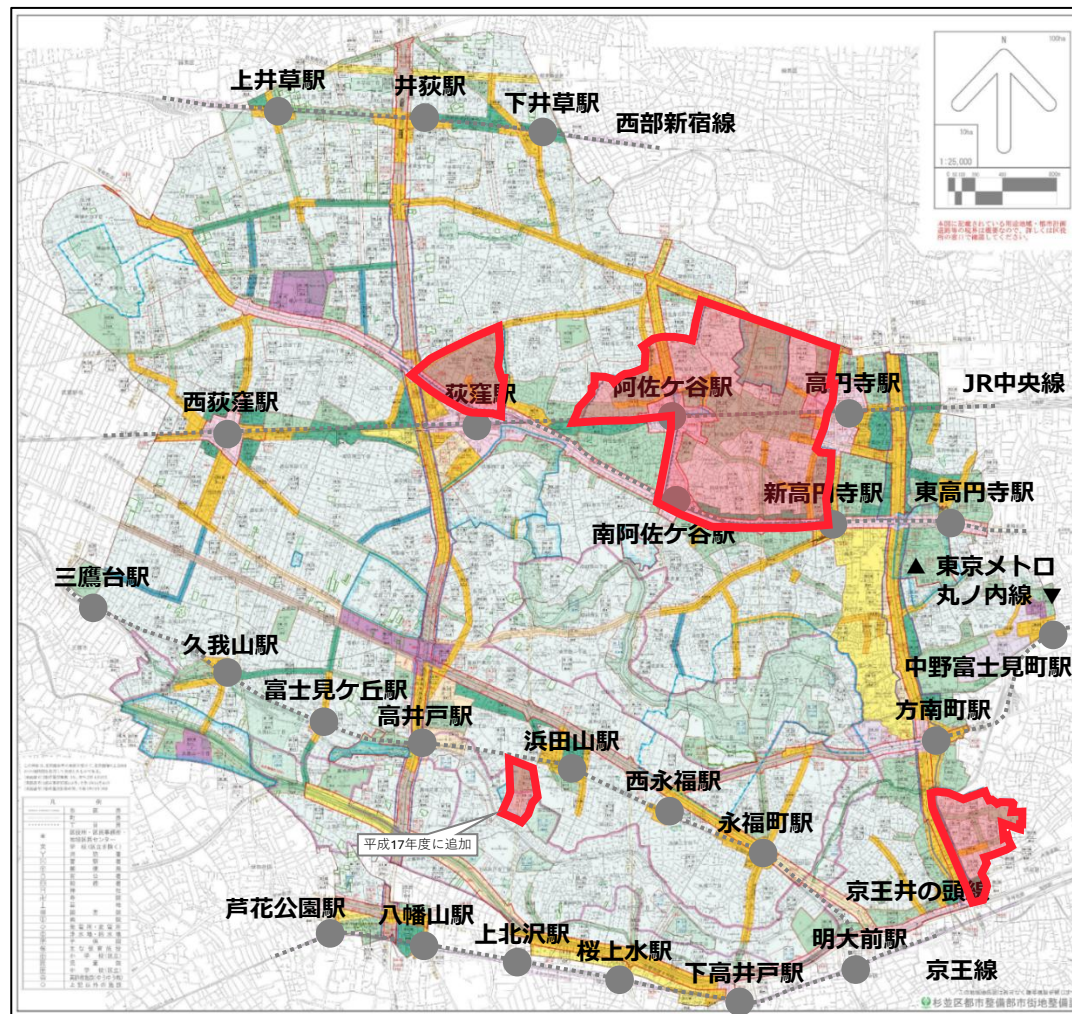
■整備地域において、

耐震化・不燃化を促進することで、
安全・安心なまちづくりを進める。

規制 と **助成** の

両面から取り組んでいる

【規制】 新たな防火規制



■規制エリア

赤色：新たな防火規制

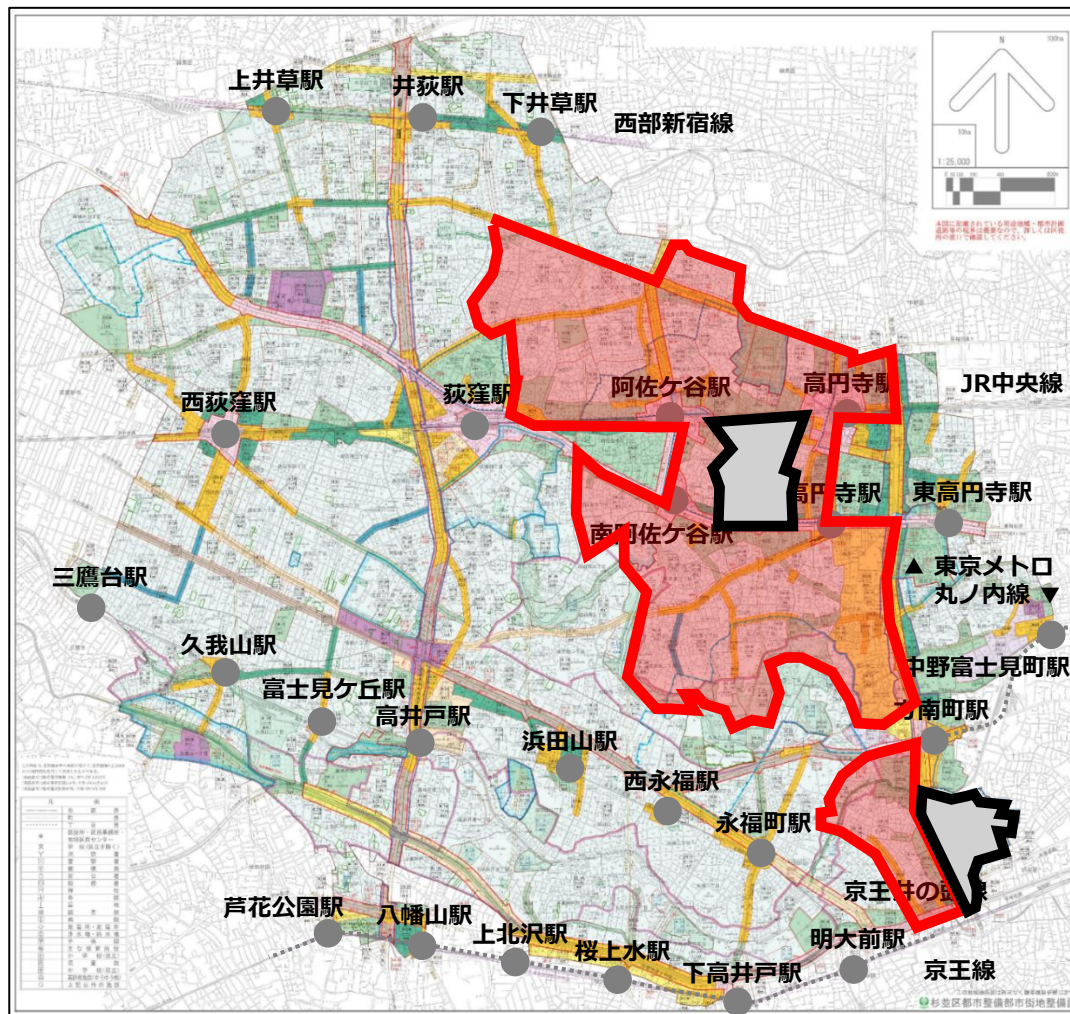
■平成16年度に新防火規制を指定

区域内では、**火に強い建物**
(準耐火建築物か耐火建築物)
しか建てられないルール。

■杉並区内の地域危険度3以上の町丁目について、平成13年以降の**不燃化率の伸び率**を比較すると、**上位10町丁目のうち9町丁目**が**新防火指定エリア**

※杉並区土地利用現況調査の結果を基に算出

【助成】木造建物の取り壊し工事費助成制度



赤色：対象区域

※灰色の地域を除く
(別途、助成制度あり)

■耐震性の低い木造建物の解体・
建替えを促進し、地域の不燃
化・耐震化を進めるための制度
です

助成額：最大150万円



令和8年度からは

高円寺北3丁目地内：

最大200万

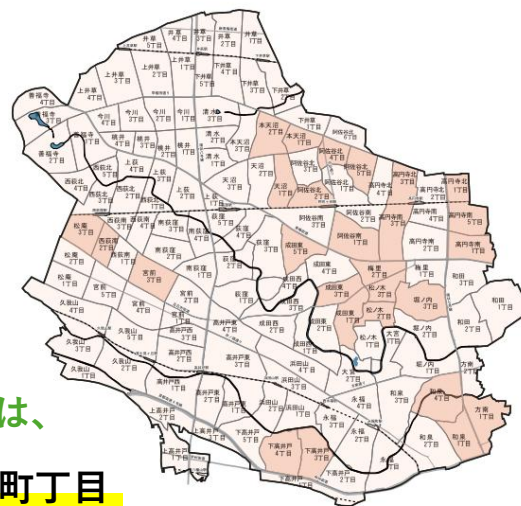
取組の成果

成果①：木造住宅密集地域の減少

木造住宅密集地域の指定地域は減少してきている。

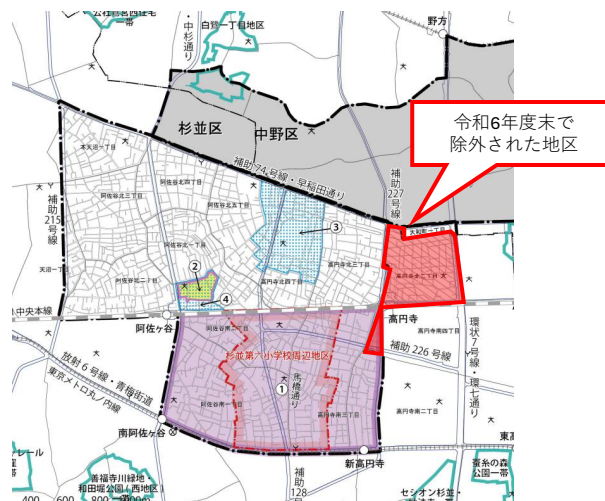
平成16年は、**103**町丁目 ▶ 平成22年は、**92**町丁目 ▶ 平成28年は、**55**町丁目 ▶ 令和2年は、**27**町丁目

※防災都市づくり推進計画の図を基に計数



成果②：整備地域の縮小

阿佐谷・高円寺周辺地域の一部（高円寺北2丁目及び高円寺南4丁目の一部）は、**防災性が確保されたとして除外**された。



狭あい道路の整備

- 道路幅員4m未満の狭あい道路(二項道路)が多く存在
- 狭あい道路整備率 約43%
- 災害時に塀などが倒壊し道をふさぐ等、避難、消防活動等に支障をきたすと想定

助成費用の充実

- ①門又は塀等の除去費：**費用全額**
- ②門又は塀等の築造費：**費用全額**or **8万5千円/m**の低い額
- ③設備配管等撤去・移設費：**200万**を上限とする

その他にも...

工事を行い後退した部分については
固定資産税の減免

支障物件について

道路後退用地にある支障物件（花壇、自動販売機等）は緊急車両の通行の妨げになるので、置くことを禁止しています



防災上の取組

取組① 感震ブレーカー設置支援事業

- ・ 震度5強以上の地震感知で自動でブレーカーを落とす器具
- ・ 電気火災の発生を防止
- ・ 設置費：2,000円 * 高円寺北3丁目、高円寺南3丁目：**無料**



取組② 街頭消火器の増設

- ・ 区内設置総数：5,850基（R8.3末）
- * 高円寺地区設置数：**643基**



取組③ 防災講座の実施、案内

- ・ 防災課職員や消防署による出前講座の実施

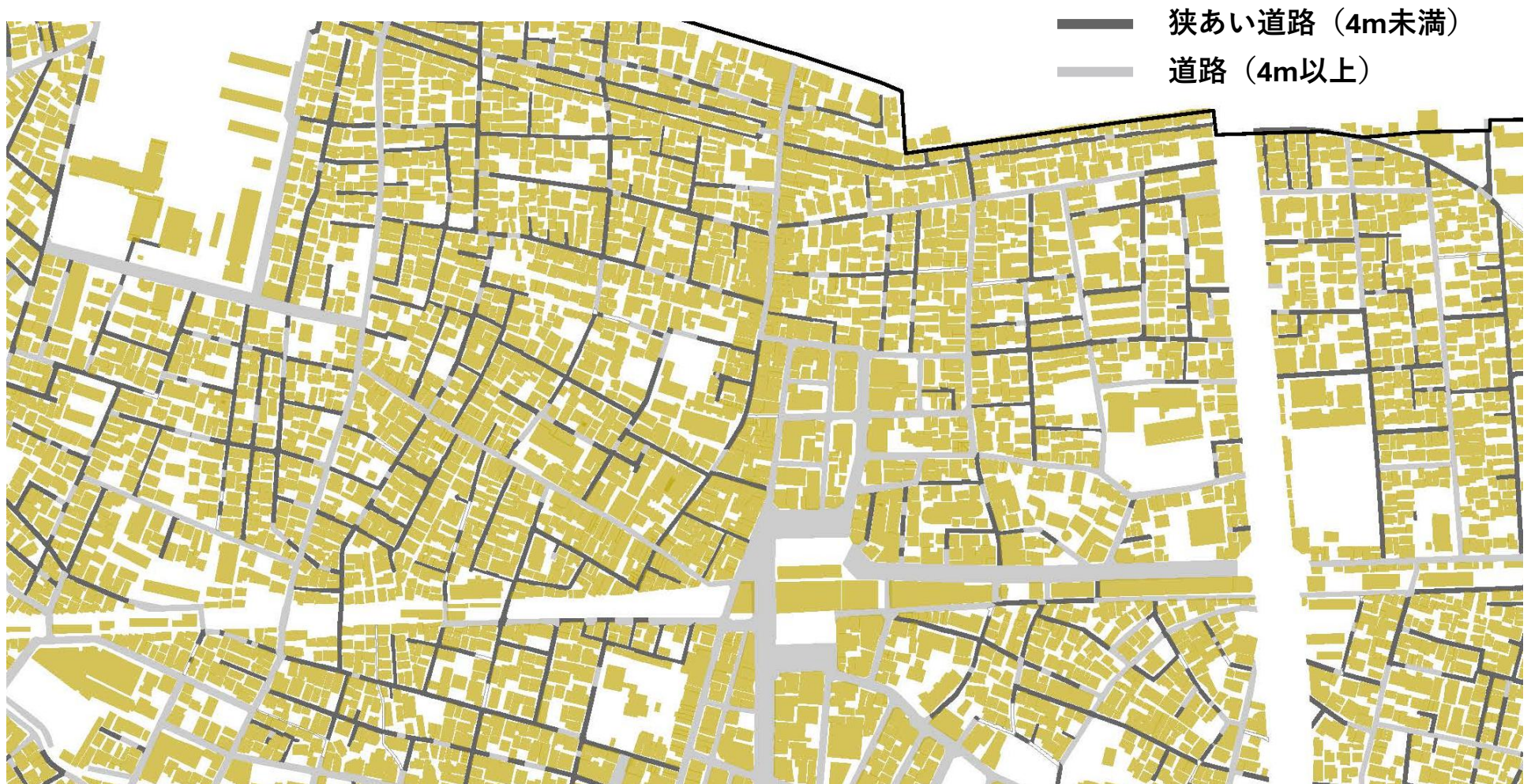
取組④ 防災意識の啓発

- ・ 防災用品あっせんの案内
- ・ 初期消火に有効なD級ポンプやスタンドパイプの配備
- ・ 震災救援所運営連絡会・自主防災組織の活動及び訓練等に対する助成



地域の危険性

- 建物倒壊危険度、火災危険度が高い
- 火災が広がりやすく、消防活動が難しい地域構造



本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

グループトークの前に

●違いを楽しみ、受け入れましょう

立場や考えの「違い」から新たな発想が生まれます

●正解探しや意見集約はしません

皆さまの多様な声をそのまま受け止めます

●その場での回答は控える場合があります

分かりにくい点や情報提供不足の把握として伺います

グループトーク①

20分

- ① 付箋に、情報提供を踏まえてのを記入（主語と述語を書く）

感想
気付き

質問
もやもや

- ② まずは1人1枚ずつ付箋を共有→ぐるっと一周

＊聴き合う時間

→発言に対して、意見を述べたり回答したりしない

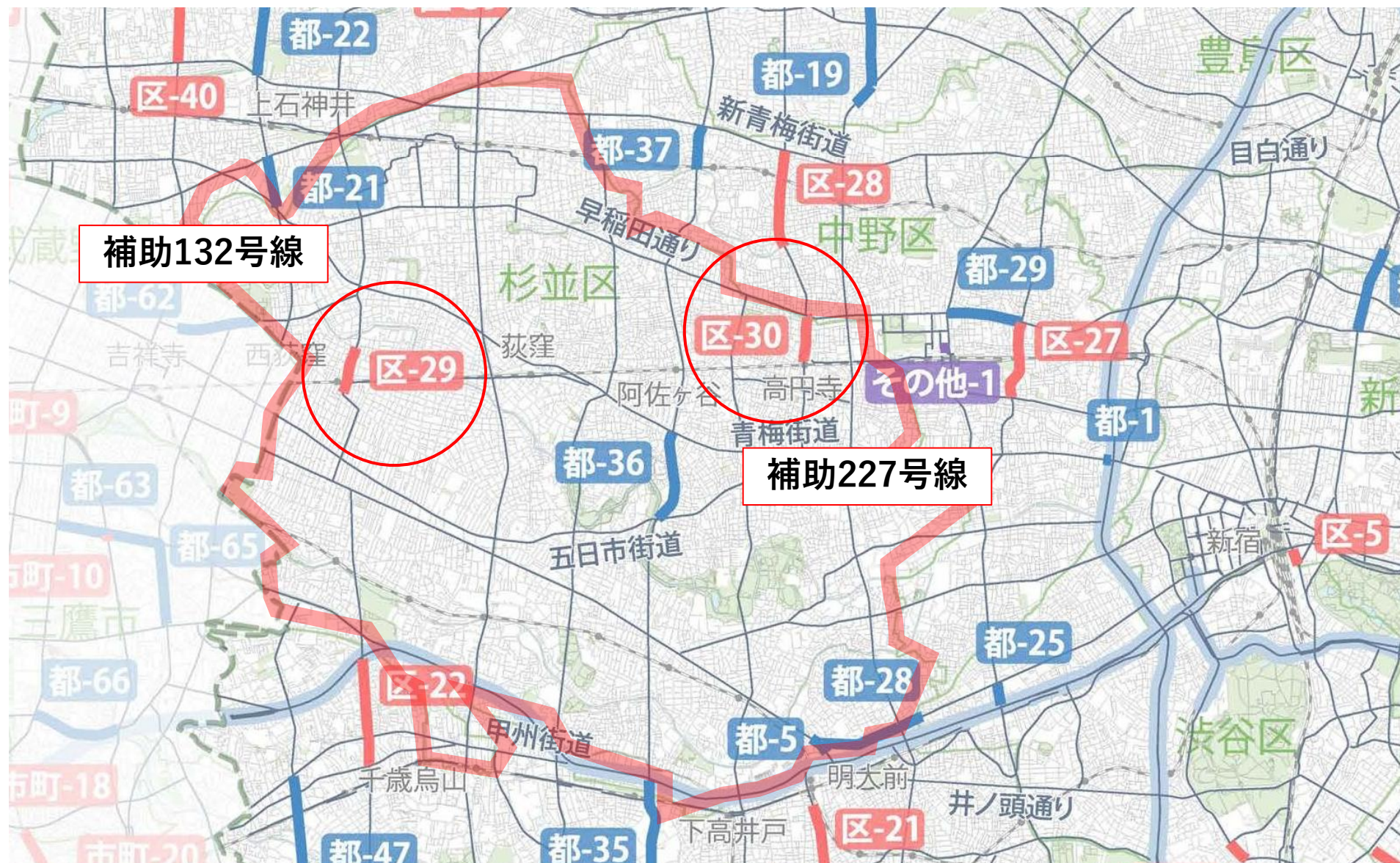
- ③ フリートーク

- ・ ②で提示された投げかけを元にみんなで話す
- ・ 残りの付箋を共有する
- ・ 新たな付箋を記入して共有する

本日の流れ

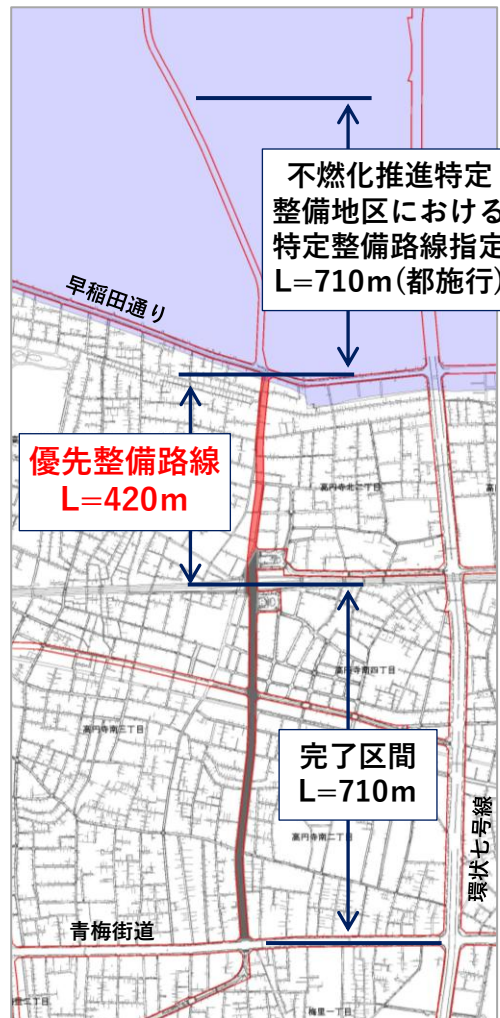
- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

第五次事業化計画 (東京における都市計画道路の整備方針)



補助227号線について

- 東京都、特別区及び26市 2 町が連携し、整備方針を策定
- 補助227号線は、平成3年（第二次事業化計画）から優先整備路線に位置付け
- 青梅街道～駅：完了（L=710m）
- 早稲田通り以北：都施行事業進行中（用地9割取得）（L=710m）
- 駅北口～早稲田通り：優先整備路線（L=420m）



長期間にわたり事業が進んでいない

< 優先整備路線 >

第二次
事業化計画
< H3-H15 >



第三次
事業化計画
< H16-H27 >



第四次
事業化計画
< H28-R7 >



第五次
事業化計画
< R8-R22 >



高円寺の魅力

サブカル・音楽のまち

住民主体のイベント

気軽に歩ける都市空間

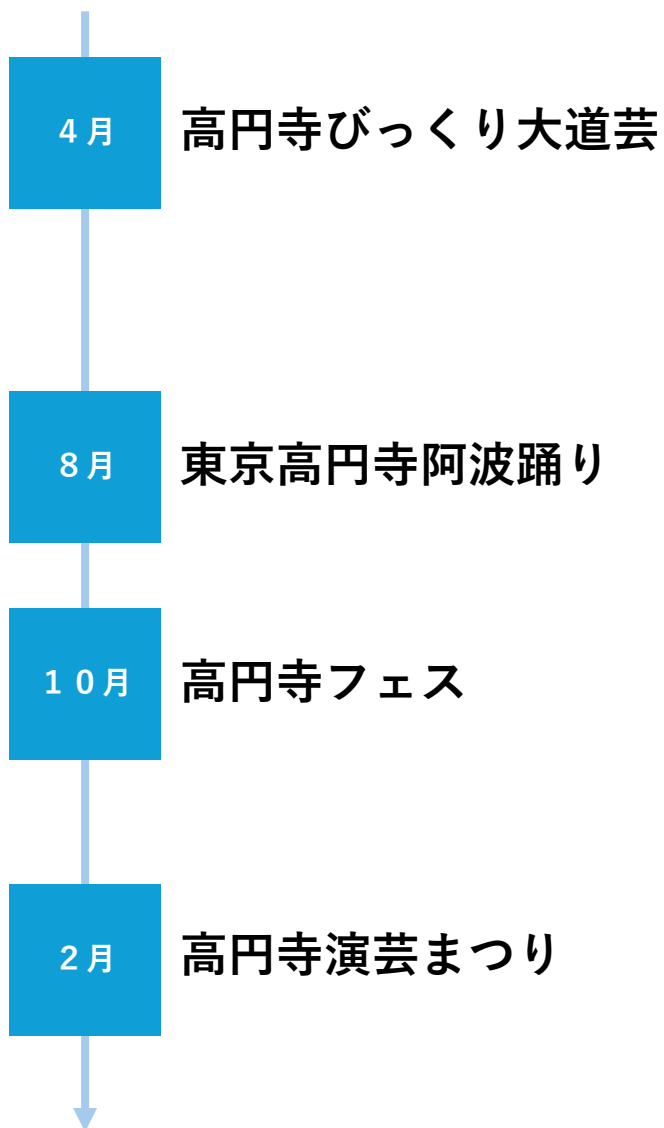
古着・個性的なお店の集積

昼と夜の顔

レトロと新しさの混在

※写真は当日投影のみ

地域の取組



※写真は当日投影のみ

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

グループトーク②

20分

- ① 付箋に、情報提供を踏まえてのを記入（主語と述語を書く）

感想
気付き

質問
もやもや

- ② まずは1人1枚ずつ付箋を共有→ぐるっと一周

＊聴き合う時間

→発言に対して、意見を述べたり回答したりしない

- ③ フリートーク

- ・ ②で提示された投げかけを元にみんなで話す
- ・ 残りの付箋を共有する
- ・ 新たな付箋を記入して共有する

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

各班の職員より共有をお願いします

- * 無理に要約する必要はありません
- * 付箋に書かれている意見は会議録として全て残ります

本日の流れ

- 01 目的・本日のゴール
- 02 前提の共有（これまでの振り返り、現状）
- 03 アイスブレイク
- 04 区からの共有①（耐震不燃化・狭あい道路・防災）
- 05 グループトーク①
- 06 区からの共有②（都市計画道路・産業振興）
- 07 グループトーク②
- 08 グループトーク内容の共有
- 09 今後の進め方

今後の進め方（案）

アンケート調査



高円寺駅北口周辺における

防災上の課題への対応と、まちの魅力の維持・継承に向けて

- 何を課題と感じているか
- 何を高円寺の大切な価値と考えているか
- 将来にどのような期待や不安をお持ちか

などを、より多くの地域の方に伺うため、**アンケート調査を実施**

※補助227号線の整備について、賛成・反対を問うためのアンケートではありません。

アンケート設計会議



- 設問内容や対象、実施方法を、地域の皆様と一緒に検討
- 地域の様々な立場の方にご参加いただき、「何を、誰に、どのように伺うか」から一緒に検討

今後の進め方（案）

アンケート設計会議の概要

構成（案）

枠	想定される主体	選出方法
① 町会代表	地区町連から複数名	団体推薦
② 商店会代表	商店会連合会複数名	団体推薦
③ 文化活動代表	東京高円寺阿波踊り、もしくは高円寺フェス等から1名もしくは2名程度	団体推薦
④ 公募枠	「若い世代」「子育て世代」など若干名	公募（手挙げ式）
学識経験者	議論の質を高めるため、まちづくり等の専門家として、下記2名の先生方に外部からの助言者として、ご参画いただく予定です。 ・饗庭 伸先生（東京都立大学） ・靱山 真人先生（東京女子大学）	

開催予定

第1回（9月）

「何を明らかにするか」

予定：9月17日（木）夜

第2回（10-11月）

設問の具体化

予定：11月中旬（平日）夜

第3回（12月）

設問確定、実施方法合意

予定：12月初旬（平日）夜

実施